

# 令和4年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 高等学校・家庭 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

### 注 意

- 1 この問題は6問5ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

## 高等学校 家庭

1

次の(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) 次の文は乳幼児の頭部について説明したものである。また、下の図は、新生児の頭部を上から見たものである。文中および図中の①～⑥に適する語句または数字を、記せ。

平成22年厚生労働省「乳幼児身体発育調査」によると、新生児の頭囲の平均値は約( ① ) cmである。頭部は( ② )で覆われている。( ② )の内部には、運動・感覚・精神の各機能のはたらきをする( ③ ) (脳, 脊髄)がある。( ③ )は、その周りを満たす( ④ )によって外圧から守られている。

( ② )は五つの部分に分かれていて、比較的骨が接している部分と大きく離れている部分がある。前方の大きく離れている部分が( ⑤ )、後方の小さいすき間が( ⑥ )である。

※著作権法に基づき掲載は省略します

- (2) 乳幼児期のうち誕生後何週までを新生児期というか、記せ。また、その時期に持っている能力の特徴を、簡潔に説明せよ。
- (3) 乳幼児期のアタッチメントについて、簡潔に説明せよ。また、アタッチメントをはぐくむために大切なことは何か、それぞれ解答欄の言葉に続けて、記せ。

2

次の(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) 青年期の課題である「自立」について、生活的自立、経済的自立以外を、三つ記せ。また、それぞれの自立の内容を、簡潔に説明せよ。
- (2) 次の文の①～③に適する語句を、記せ。

日本では、高度経済成長期(1950年代後半～)以降、性別役割分業が広まった。しかし、国際社会では男女平等の考え方が強まり、1979年第34回国連総会において(①)が採択された。これを受けて、日本では1985年に(①)を批准し、1986年に(②)が施行された。1997年の同法の改正を受けて(③)が改正され、女性の時間外・休日労働、深夜業の規制の解消がなされた。2007年の(②)の改正では、男女双方に対する、性別を理由とする差別的取扱いが禁止となった。

- (3) 男女共同参画社会基本法(平成11年6月施行、同年12月改正)において示された、「男女共同参画社会の形成」の意義を、簡潔に説明せよ。

3

次の(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) 日本の住宅の変遷について、次の①～④から正しいものを一つ選び、記号で記せ。
- ① 平安時代、貴族の住む住宅の様式は、書院と呼ばれ、次の間を隣接させ、座敷飾りとして床の間、違い棚・付け書院などを組み合わせて配置した。
- ② 戦国時代を経て、天下が統一されると、身分・格式を明確に示し、接客・対面を行う場が重視された。この場となる部屋を寢殿と呼び、この住宅様式を寢殿造という。
- ③ 明治期になると都市の独立住宅では、官吏・会社員などのいわゆるサラリーマンたちによって、敷地が塀で囲まれ、入り口に門を設け、玄関・座敷構えといった間取りの住宅が作られた。この住宅は「異人館」と呼ばれ、多くの日本人にはまだ身近なものではなかった。
- ④ 第二次世界大戦後、鉄筋コンクリート造の集合住宅が公営アパートとして急増した。各戸には食堂と台所を一体にして面積を節約した、ダイニングキッチンが採用された。

- (2) 次のア、イは、日本の気候、風土に根ざした地域特有の伝統的な住宅である。それぞれの住宅の特徴を、簡潔に説明せよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

- (3) 次のA、Bの住宅について、それぞれ簡潔に説明せよ。

A コーポラティブハウス

B コレクティブハウス

4

次の(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) たんぱく質に含まれている元素のうち、炭水化物や脂質と異なる元素を、二つ記せ。
- (2) 次の①～③のうち、正しいものを一つ選び、記号で記せ。
- ① たんぱく質に糖が結合したものを糖たんぱく質といい、糖たんぱく質の主なものに、小麦のグルテニンや米のオリゼニンがある。
- ② 単純たんぱく質のグロブリンは、水にとけず、薄い食塩水にとけ、加熱すると凝固し、アルブミンと共存している。グロブリンの主なものに、大豆のグリシン、肉のミオシンがある。
- ③ 核たんぱく質は、単純たんぱく質と核酸が結合し、たんぱく質の合成に関係する。核たんぱく質の主なものに、血液のヘモグロビン、筋肉のミオグロビンがある。

(3) ゼラチンと寒天について次の①, ②の問いに答えよ。

- ① それぞれについて, 使用濃度, 溶解温度, 凝固温度を含めた特徴を, 簡潔に説明せよ。
- ② 高等学校学習指導要領(平成30年公示)各学科に共通する各教科「家庭」に示される「3内容の取扱い」を踏まえた, ゼラチンと寒天の特徴についての授業展開例を, 記せ。

5

次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 家計について, 次の①～③の問いに答えよ。

① 収入について, 下の図のア, イに適する語句を, 記せ。



- ② 非消費支出に含まれるものを, 二つ記せ。
- ③ 実収入から非消費支出を差し引いた金額を何というか, 漢字五文字で記せ。

(2) 消費者教育推進法(平成24年施行)において示された「消費者市民社会」とは, 消費者がどのような社会の形成に参画すると定義しているか, 記せ。

(3) 「消費者基本法」(平成16年公布)に示される基本理念を, 二つ記せ。

6

全国高等学校家庭科被服製作技術検定洋服1級「裏つきジャケット」の製作について、次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次のI～IVの手順で作業を行うこととした。a～hに適する語句または数字を、記せ。

I 裏布の後ろ身ごろを中表に合わせ、しるしどおりに( a )をする。ウエストラインまではしるしの( b ) cm外側を、ウエストラインから下はしるしの( c ) cm～( d ) cm外側をミシン縫いする。切りかえは、しるしどおりに( a )をし、しるしの( c ) cm～( d ) cm外側をミシン縫いする。きせをかけて裏布に( e )をもたせるようにする。

II 後ろえりぐり見返しと裏布の後ろ身ごろを縫い合わせる。

III 前見返しと裏布の前身ごろを縫い合わせる。すそは、すそのできあがり線位置から( f ) cm縫い残す。

IV 表身ごろ：前・後ろ身ごろの肩を縫い合わせる。縫いしろは( g )る。

裏布：前・後ろ身ごろの肩を縫い合わせる。見返しの縫いしろは( g )り、裏布の縫いしろは( h )側に片返す。

(2) すそのしまつについて、下の図の①～③の縫い方を、下から選び、記号で記せ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

ア 千鳥がけ      イ たてまつり      ウ 奥まつり      エ 星どめ      オ 返し縫い

(3) ジャケットの裏布の役割を、三つ記せ。